

一般質問通告書要旨

清新クラブ 5 番議員 高阪康彦

(質問事項 1 問目) 本町地区に公共用地を

本町に多目的公共用地を取得してほしいと云う事は本町住民の要望であり、悲願である。それは加藤楽器跡地問題を契機として3200名の請願が出されたことでも明らかである。(この数は当町総有権者の1割をうわまっている。大きな数字)そう言った事で、12月議会でも本町地区に公共用地を早期に求める決議が可決されている。

本町地区は、早くから発展し蟹江町の中核を形成している。しかし住民が気軽に利用出来る公共施設はあまりない。各地区の公民館か、小公園ぐらいである。

(産業会館は少し用途が違いあまり利用されていない)

公共用地の重要性は、防災公園、遊水池、又、町長公約の三世代ふれあいプラザの建設など色々と考えられる。

又、波及効果として、これは自分の勝手な想像であるが、本町地区は大小八町内で組織されており、それぞれが独立し運営をしています。これは、歴史的経緯もありますが、本町を一つに考えるシンボリックな物が、あまりありません。個人的にしていえば神明社の秋の大祭がその一つかなと思います。公共用地が取得出来て、シンボリックな物がたてば、本町を一つに考える気運が出来て、ある程度の期間を要しますが、本町地区の合併と云うような話も考えられます。本町連合会長が本町区長となり、小さな一つの行政改革が出来ると思います。

議会だよりを見ると、3月議会で菊地議員のこの事項に関する質問に対し、まとまった土地取得が難しく、単価等の点で地権者の協力が得られなかったと、答弁をされていますが、これからも加藤楽器のようなケースが、ないとはいえないので、参考に

加藤楽器跡地が大京観光に渡る以前に町への、接触があったのか、なかったのか

あったとしたら、なぜ断念をしたのか。

なかったとしたら、情報はあったと思いますので、行動しなかった理由

この質問をしたのは、現実にニッセンでは、土地の一部が売却され、建売住宅になっている。ニッセンの土地売却の情報はあったのか。を質問します。

今後この問題(本町地区の公共用地取得)に関しての取り組み、考え方

を、お尋ね致します。(答弁を求める者 町長)

今後は、議会の議決を重要視して、積極的に本町地区の公共用地の取得に努力されるよう要望します。